

**KORG**

このたびは、コルグ・デジタル・チューナーDTR-2000/1000をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品を末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でお使いください。

**本誌の読み方**

本文中、グレーの網掛けをしている部分は、DTR-2000でのみ使用できる機能の説明です。

DTR-1000をお求めのお客さまは、この部分をとばしてお読み下さい。

**安全上のご注意**

**ご使用になる前に必ずお読みください**

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

**マークについて**

製品には下記のマークが表示されています。

**WARNING:**  
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.

	<b>CAUTION</b> RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN	
<b>AVERTISSEMENT:</b> RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE—NE PAS OUVRIR.		
<b>注意</b> 感電の恐れあり、キャビネットをあけるな		

マークには次のような意味があります。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

**火災・感電・人身障害の危険を防止するには**

**図記号の例**

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的は注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

**以下の指示を守ってください**

**警告**

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートの原因があります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。電源コードやプラグが破損したとき異物が内部に入ったとき

製品に異常や故障が生じたとき

修理が必要なときは、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、または営業技術課へ修理を依頼してください。

- ⊘ 本製品を分解したり改造したりしない。
- ⊘ 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対に行わない。
- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものを乗せない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
- ⊘ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- ⊘ 雨天時の野外などのような湿気の多い場所で、使用や保管はしない。
- 本製品の上に液体の入ったもの(水や薬品等)を置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
- ⊘ 濡れた手で本製品を使用しない。

**注意**

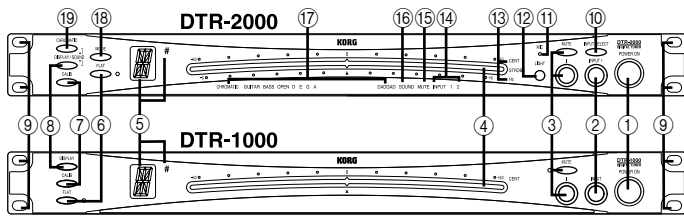
この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- ⊘ 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしな。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- 不安定な場所に置かない。本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。
- 地震時は本製品に近づかない。
- 本製品に前後方向から無理な力を加えない。本製品が転倒する危険性があります。

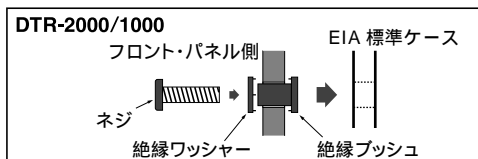
\* 掲載されている会社名、製品名、規格名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# 各部の名称と機能

## フロント・パネル



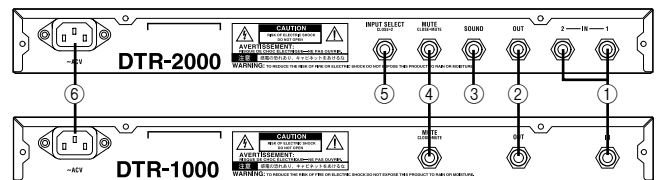
- ① POWERスイッチ(電源スイッチ)  
接続したアンプのボリュームを下げてから、電源スイッチを押してオンにしてください。押すたびに電源のオン、オフを繰り返します。
- ② INPUT 1端子(入力端子)  
チューニングする楽器を接続します。この端子にプラグを接続するとリア・パネルのINPUT端子(DTR-2000はINPUT 1端子)は使用できません。
- ③ MUTEスイッチ/端子(ミュート・スイッチ/端子)  
ミュートのオン、オフを切替えます。オンのときはスイッチ横のインジケータ(DTR-2000はミュート表示)が点灯し、OUTPUT端子から出力される音が消音されます。MUTE端子にラッチ型(オルタネート型)のスイッチを接続してミュートのオン、オフをする事もできます。
- ④ チューニング・メーター  
基準ピッチと入力音のずれを表示します。
- ⑤ 音名表示部(マルチLED、シャープ表示)  
入力された音に一番近い音名を、マルチLEDとシャープ(#)で表示します。また、キャリブレーション値、フラット数も(DTR-2000は弦番号も)表示します。
- ⑥ FLATスイッチ(フラット・チューニング・スイッチ)  
フラット・チューニング(半音下げたチューニング)のオン、オフと下げる量(最大7フラット)を設定します。オンのときはスイッチ横のインジケータが点灯します。
- ⑦ CALBスイッチ(キャリブレーション・スイッチ)  
チューニングするための基準ピッチ(A4=440Hz)を変更するときに押します。
- ⑧ DISPLAYスイッチ(ディスプレイ切替スイッチ)  
押すたびにチューニング・メーターの表示が切り替わります。また、DTR-2000では、このスイッチとCHROMATICスイッチを同時に押すとサウンド・モードに入ります。
- ⑨ ラック取り付け穴  
図のように付属のネジ、絶縁ワッシャー、絶縁ブッシュでEIAの標準ケースへ取り付けます。



- ⑩ INPUT SELECTスイッチ(入力端子切替スイッチ)  
使用するINPUT 1、2端子を切替えます。選んだ端子は入力表示の点灯で確認できます。電源をオンにしたときはINPUT 1が選ばれます。

- ⑪ MIC(マイク)  
アコースティック楽器のチューニングに使用します。マイクを使用するときは、あらかじめプラグが接続されていないINPUT端子をINPUT SELECTスイッチで選び、ミュートをオンにします。
- ⑫ LIGHT(ライト・スイッチ)  
本体中央下部分の照明のオン、オフを切り替えます。
- ⑬ メーター目盛り表示  
現在選ばれているチューニング・メーターの目盛り(CENT、Hz)が点灯します。
- ⑭ INPUT 1、2表示(入力端子表示)  
現在選ばれている入力端子の表示(1、2)が点灯します。
- ⑮ MUTE表示(ミュート表示)  
ミュートをオンにしたときに点灯します。
- ⑯ SOUND表示(サウンド表示)  
サウンド・モードに入ったときに点灯します。
- ⑰ チューニング・モード表示  
現在選ばれているチューニング・モードの表示が点灯します。
- ⑱ MODEスイッチ(モード・スイッチ)  
チューニング・モードにクロマチック以外を選ぶときに押して切り替えます。
- ⑲ CHROMATICスイッチ(クロマチック・スイッチ)  
他のチューニング・モードから、クロマチック・モードに切り替えます。また、このスイッチとDISPLAYスイッチを同時に押すとサウンド・モードに入ります。

## リア・パネル




- ① INPUT 1、2端子(入力端子)  
チューニングをする楽器を接続する端子です。ただし、フロント・パネルの入力端子にプラグが接続されているときはこの端子(DTR-2000はINPUT 1)は使用できません。
- ② OUTPUT端子(出力端子)  
アンプ、ミキサー等を接続します。INPUT 1、2端子からの入力音を出力します。
- ③ SOUND端子(サウンド端子)  
アンプ、ミキサー等を接続します。サウンド・アウト・モード時はこの端子から基準音を出力します。
- ④ MUTE端子(ミュート端子)  
ラッチ型(オルタネート型)のスイッチを接続してミュートのオン、オフを切り替えます。ただし、フロント・パネルのMUTE端子を使用しているときは、この端子は使用できません。
- ⑤ INPUT SELECT端子(入力切り替え端子)  
ラッチ型(オルタネート型)のスイッチを接続してINPUT 1、2を切り替えます。
- ⑥ ~ ACV端子(電源端子)  
付属の電源コードを接続します。電源コードを本体に接続してから、プラグをコンセントに差し込んでください。

## チューニングの方法

DTR-1000はチューニング・メーターを使ったクロマチック・チューニングを行います。

DTR-2000は8つのモードでチューニング・メーターや基準音によるチューニングを行います(次ページ「チューニング・モード」参照)。

 出力レベルの大きな楽器では測定できない場合があります。その場合は、測定する楽器の出力レベルを下げてください。

### 接続

エレクトリック・ギター、ベース等をチューニングするときは、INPUT 1、2端子にプラグ接続してください。

DTR-2000はINPUT 1と2の端子がありますので、プラグをさした端子をINPUT SELECTスイッチで選んでください。

アコースティック楽器をチューニングするときはコンタクト・マイク(CM-100:別売)等を使用してください。

DTR-2000では、INPUT SELECTスイッチで、プラグを接続していないINPUT端子を選びミュートをオンにすると、内蔵マイクでチューニングすることができます。内蔵マイクを使うときは、楽器を本機のマイク部分になるべく近づけた状態で使用してください。またこのとき、チューニングする音以外が入らないように気をつけてください。

### メーターを使ったチューニング

1. DISPLAYスイッチでチューニング・メーターの表示を選びます。

CENT表示

-50セント～+50セントの範囲で表示します。メーター中央の0( )が点灯するように楽器のピッチを調整します。

STROBE表示

メーターの光の列が静止するように楽器のピッチを調整します。

Hz表示

-6ヘルツ～+6ヘルツの範囲で表示します。メーター中央の0( )が点灯するように楽器のピッチを調整します。範囲を越えた場合は越えた量によってメーターの点灯が暗くなります。

2. 必要に応じてキャリブレーションやフラット設定をします。

DTR-2000では、チューニング・モードも選べます。

3. 楽器を単音で弾きます。

4. 音名表示部に希望する音名が表示されたのを確認してから楽器のピッチを調整します。

### 基準音によるチューニング

1. 必要に応じてキャリブレーション、フラット設定やチューニング・モードを選びます。

2. DISPLAYスイッチとCHROMATICスイッチを同時に押してサウンドモードに入ります。このとき、サウンド表示が点灯します。

3. SOUND端子から基準音出力されます。音量調整は接続した機器側で調整してください。

4. 出力される音程を上げるときはCHROMATICスイッチ、下げるときはDISPLAYスイッチを押します。設定したチューニング・モードに従って音程が上下します。

サウンド・モードに入ったときの基準音はクロマチックでは“A”ですが、その他のモードでは各モードの最低音出力されます。音を入力しながらサウンド・モードに入るとその音に一番近い基準音出力されます。

5. 基準音にあわせてチューニングをします。

6. サウンド・モードから抜けるときはDISPLAYスイッチとCHROMATICスイッチを同時に押します。サウンド表示が消灯します。

## キャリブレーションの方法

本体で設定するマニュアル・キャリブレーションと、入力した楽器のピッチを基準ピッチとして認識できる、オートリファレンス・キャリブレーションがあります。


一度設定したキャリブレーション値は電源スイッチをオフにするまで記憶されます。なお、電源をオンにしたときの基準ピッチはA=440Hzに設定されています。

### マニュアル・キャリブレーション

1. CALIBスイッチを押すとマルチLEDに、現在のキャリブレーション値の下一桁が表示されます(範囲438Hz～445Hz)。オートリファレンス・キャリブレーションで範囲外に設定されている場合は“L”(低い場合)または“H”(高い場合)が表示されます。

2. CALIBスイッチを押すたびに1Hz単位で値が選べます。

3. 基準ピッチを440Hzに戻すときはマルチLEDに“0”が表示されるまで何度かCALIBスイッチを押してください。

 CALIBスイッチを1秒以上押し続けると、オートリファレンス・キャリブレーションが動作します。

### オートリファレンス・キャリブレーション

1. エレクトリック・ギター、キーボード等の音を基準ピッチに設定するにはINPUT 1(または2)端子に接続した楽器を単音で弾きます。

DTR-2000ではアコースティック楽器等の音を内蔵マイクで拾って基準ピッチを設定できます(左段「接続」参照)。

2. チューニング・メーターの動きが止まったところで、メーターの表示が一瞬消えるまで(約1秒)CALIBスイッチを押すつづけます。


3. 自動的に音名を判断した上でキャリブレーション値が設定されます。マルチLEDに438Hz～445Hzの下一桁が“L”(低い場合)または“H”(高い場合)が表示されます。


入力する楽器の音は、特にAの音でなくてもかまいません。


DTR-2000で入力する音は、選んでいるチューニング・モードで認識できる音(GUITARなら、E、A、D、G、Bのどれか)を選んでください。

本機では、±50CENTの範囲でピッチのずれを測定しますので、A以外の音から基準ピッチを設定したい場合でも、その音名を自動的に(±50CENTの範囲内で)判断して、オートリファレンス・キャリブレーションを行います。

ただし、これらの場合のマルチLEDには、入力された音をA4(ピアノの中央のラの音)に置き換えたときのキャリブレーション値が表示されます。

 入力する音が安定しないときや、音が小さすぎて測定できないときは、オートリファレンス・キャリブレーションは行われません。

 CALIBスイッチを押してすぐにはなすと、マニュアル・キャリブレーションが動作します。

 メーターの動きが安定しないうちにCALIBスイッチを押すと、基準ピッチが正しく測定されません。

## フラット・チューニング

FLATスイッチを押すと実際の音より、半音高く音名表示部に表示します。スイッチを押すたびに1フラットずつ下げることができ、最大7フラットまでチューニングを下げるすることができます。

フラット数はFLATスイッチを押した後、1秒ほどマルチLEDに表示されます。また、フラット・チューニング中はスイッチ横のインジケータが点灯します。

フラット・チューニングから抜けるときは、FLATスイッチを何度か押し、マルチLEDの表示を“0”にします。このときスイッチ横のインジケータが消灯します。

## チューニング・モード

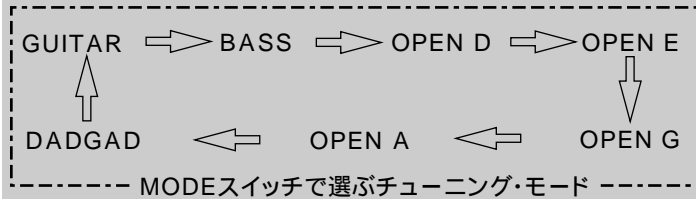
CHROMATICスイッチとMODEスイッチを使ってチューニング・モードを切り替えます。

電源をオンにしたときは、クロマチック・モードが選ばれています。

MODEスイッチを押すと、ギター・モードが選ばれます。

その他のモードにするとときは、MODEスイッチを何度か押して目的のモードを選びます。

CHROMATIC(クロマチック・モード)



----- MODEスイッチで選ぶチューニング・モード -----

CHROMATICスイッチを押して、クロマチック・モードに戻った後も、電源をオフにするまでは、MODEスイッチを押すと最後に選んだチューニング・モードに入れます。

### チューニング・モード一覧表

モード表示	音名表示部(表示)/サウンド・モード時の音の順番
CHROMATIC (クロマチック)	音名(C、C <sup>♯</sup> 、D、D <sup>♯</sup> 、E、F、F <sup>♯</sup> 、G、G <sup>♯</sup> 、A、A <sup>♯</sup> 、B) C、C <sup>♯</sup> 、D、D <sup>♯</sup> 、E、F、F <sup>♯</sup> 、G、G <sup>♯</sup> 、A、A <sup>♯</sup> 、B
GUITAR (ギター)	弦番号(7、6、5、4、3、2、1)/BEADGBE
BASS (ベース)	弦番号(L、4、3、2、1、H)/BEADGC
OPEN D (オープンD)	音名(D、F <sup>♯</sup> 、A)/D、F <sup>♯</sup> 、A Dmajコード構成音のみ
OPEN E (オープンE)	音名(E、G <sup>♯</sup> 、B)/E、G <sup>♯</sup> 、B Emajコード構成音のみ
OPEN G (オープンG)	音名(G、B、D)/G、B、D Gmajコード構成音のみ
OPEN A (オープンA)	音名(A、C <sup>♯</sup> 、E)/A、C <sup>♯</sup> 、E Amajコード構成音のみ
DADGAD	弦番号(6、5、4、3、2、1)/DADGAD

## スペック

スケール	12 平均律
メーター	CENT 表示、ストロボ表示、Hz 表示
測定範囲	A0 ~ C8 (27.5Hz ~ 4186Hz)
測定精度	± 1CENT
キャリブレーション範囲	

マニュアル・キャリブレーション：  
438Hz ~ 445Hz (1Hz ステップ)

オートリファレンス・キャリブレーション：  
428Hz ~ 452Hz

基準音範囲 C2 ~ C6

接続端子 フロント：INPUT 1、MUTE  
リア：INPUT 1、INPUT 2、MUTE、  
SOUND、INPUT SELECT

消費電力 / 重量 DTR-2000 9W/1.4kg  
DTR-1000 6W/1.4kg

外形寸法 481mm x 113mm x 46mm (W x D x H)

付属品 取扱説明書、電源コード  
(絶縁ワッシャー、絶縁ブッシュ、ネジ) x 4

外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

- 本保証書の有効期間はご購入日より1ケ年です。
- 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
  - 消耗部品(電池など)の交換。
  - お取り扱い方法が不適当のために生じた故障。
  - 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
  - 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
  - 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
  - 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
  - 本保証書の提示がない場合。
- 尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。最寄りのコルグ営業所、またはサービス・ステーションまでお問い合わせください。
- 修理、運送費用が製品の価格より高くなることもありますので、あらかじめ最寄りのコルグ営業所、またはサービス・ステーションへご相談ください。運送にかかる往復の費用はお客様の負担とさせていただきます。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。  
本保証書は、保証規定により無料修理をお約束するためのものです、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### お願い

本保証書に販売年月日の記入がない場合は無効となります。

- 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
- 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

## コルグ DTR-2000/保証書

DTR-1000

本保証書は上記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から満1年の間に万一故障が発生した場合は、製品と共に本保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

お買い上げ日 年 月 日

販売店名

## アフターサービス

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口 TEL 03(3799)9086

サービス・センター	〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1 明正大井5号営業所	コルグ物流センター内	TEL 03(3799)9085
名古屋営業所	〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町100-51		TEL 052(832)1419
大阪営業所	〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F		TEL 06(6374)0691
福岡営業所	〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-25 第2池田ビル1F		TEL 092(531)0166

### <WARNING!>

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

(この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です)